

湘南日独協会 会報
Der Wind
(風)

湘南日独協会会報(Der Wind)

VOL. 15. NO. 1. 通巻86. 発行 2013. 1. 6

湘南日独協会

Japanisch-Deutsche Gesellschaft in Shonan

事務局：〒251-0025 藤沢市鵠沼石上1-1-1

江ノ電第2ビル7F

TEL0466-26-3028 / FAX0466-27-5091

Der Wind 新年ご挨拶

湘南日独協会会長 織田 正雄

明けましておめでとうございます。

今年2013年に湘南日独協会は創立15周年を迎えます。

15年前にWeimar独日協会の支援と指導を受けて当協会は設立されました。初代会長の岩崎英二郎先生の指導の下、会員は藤沢・鎌倉を中心に神奈川県全域から集まり、順調に成長してきました。

ここ数年新しく増えた幹事さんのご尽力で毎月充実した例会・懇談会が行われて居ります。コーラスグループの活動も順調で、日独150周年では有栖川公園の舞台上で歌唱を披露する筈になり、今年はさらに鎌倉芸術館で15周年記念コンサートを行います。

ドイツ語講座も会の重要な事業のひとつになっています。さらに鎌倉市では以前からですが、藤沢市でも秋に行われます国際交流フェスティバルに私達のブースを設けるまでになりました。

一方協会がかかえる問題としては一つは会員の高齢化と若者会員が少ないこと、そして日独協会でありながらドイツ人の会員が少ない事です。若者については域内の学校などとも関係が出来れば良いのですが、今現在はまだ協会から積極的に連絡する状況にはなっていません。

ドイツ人との交流の場を持つ方法として、今年は創立15周年の機会に会員みんなでドイツのWeimarに出かけ、パートナーであるWeimar独日協会の会員と一緒に15周年を祝おうと企画しました。ドイツのおいしい白いアスパラガスの季節でもあります5月後半にWeimarを訪ねると共に、この機会にこれまであまり訪ねる機会の少なかった東部ドイツの珍しい所を回り、その間にDresden, Cottbus, Berlin, Stralsund, Hamburgの各独日協会との会食も計画しています。詳しいスケジュールはチラシにある様に5月22日出発、31日帰国を予定しています。日程の前後の自由行動も可能です。参加申し込みの期限は3月15日です。

片やWeimar独日協会では、今年11月にグループで来日の計画があり、これまでも何度か歓迎した経験のあります当協会としては万全の歓迎プログラムを用意したいと考えます。

こういう次第で、今年は日独協会らしい活動が出来ることを期待しています。

湘南日独協会の活動予定

■ Singen wir zusammen! 歌で楽しむドイツ語 第5回

日時 1月13日(日) 15:00~16:30

会場 江ノ電第2ビル4F 湘南アカデミア

今回はLiebe、愛の歌がテーマです。美しい曲、ロマンティックな曲を取り上げます。ドイツ人による発音と解説を聞き楽しく歌いましょう。初めての方も歓迎です。

会費 1,000円

申込み、問合せ：木原

Tel:0466-28-9150 E-mail:jdgs@jcom.home.ne.jp

■第84回例会並びに定時総会開催

日時 1月27日(日) 13:30-

会場 江ノ電第2ビル7階 湘南アカデミア

例会 映画会 『未完成交響曲』

「わが恋の終わらざるごとく、この曲も終わらざるべし」

シューベルトの青春期と名曲の作曲秘話のラブロマンス

会費 500円

その後(予定は16時開始) 定時総会

■2月懇話会

「ドイツから学んだこと」

スピーカー： 会員 大久保 明氏

昨年のドイツ旅行から得られた知見、更に豊富なドイツ駐在経験を交えてドイツの環境維持・市民活動等の報告と皆さんとの情報・意見交換を食事をしながらいたします。

日時 2月20日(水) 17:00~19:00

会場 藤沢産業センター (藤沢郵便局隣のDNビル)

6階コミュニティールーム 2

会費 1,000円 (飲食費は別料金)

■第85回例会 湘南日独協会創立記念特別講演会

「二種類の即席造語— 生きたドイツ語の面白さ —」

会員 名誉会長 岩崎 英二郎

「即席造語」なる術語は存在しない。ドイツ語の語り手ないし書き手がその場の思いつきで作る言葉をドイツ語では Augenblicksbildung と呼ぶが、「インスタントラーメン」、すなわち「即席ラーメン」に因んでの筆者の思いつきにすぎない。さてどのようなラーメンが出来上がるものやら、おいしいラーメンか、まずくて食えないラーメンか。乞うご期待。(岩崎先生談)(詳細次頁)

(前頁の続き)

湘南日独協会の活動予定

■第85回例会 湘南日独協会創立15周年記念講演会

「二種類の即席造語— 生きたドイツ語の面白さ —」

会員 名誉会長 岩崎 英二郎

日時 3月24日(日) 14:00~16:00

会場 江ノ電第2ビル7階湘南アカデミア

(講演終了後懇親会を予定しています)

11月例会

「グリムこぼれ話」を聴講して

会員 木原健次郎

世界中で、聖書に並ぶと言われる程広く読まれている「グリム童話 (Kinder und Hausmaerchen)」は、グリム兄弟によって、1812年、初版が出版された。当時のドイツは、多くの小国に分かれたまま、フランス革命を経て急速に膨張するフランスに、政治的には個別に対応せざるを得ず、後にドイツ統一の柱となるPreussenですら、Jena/Auerstadtの戦いにNapoleon率いる仏軍に敗れ、領土侵食・賠償金債務・仏軍駐留の屈辱を味わっていた。

このような中、フィヒテやシュタインの登場で、ドイツのVolk (国民)意識が高揚。グリム兄弟の携わった、ドイツのMaerchenの発掘・収集作業も、こうした世の中の意識変化を反映したものであったようだ。

御講演頂いた橋本孝先生(日本グリム協会会長)は、このグリム童話、グリム兄弟を永年研究されてこられ、その造詣の深さには感服させられる。グリムに関係する場所は、ご自身で確認する為、隅々まで足を運ばれ、その度に新たな発見をされ、感動されている御様子は、寧ろ羨ましい程である。又、Wilhelm Grimmの妻ドロテアの手紙に出てくる文久使節団の日本人3名(訪問を受けて懇談したと)とは誰か、又、日本の資料では、何故その訪問の事が確認できないのか、についてのお話では、未だ未解明な、推理の楽しみの余地が残っているテーマである事も感じられました。

グリム童話について、世界的に有名な童話程度の認識しかなかった自分の無知を恥じるとともに、その不思議さ、奥深さに、今更ながら、強く惹かれる思いを持った。

以下、特に興味をそそられた点、感じた点を記してみたい:

① 本来の民話の意図した処は何か?

グリム兄弟は、出来るだけ伝承に忠実に、昔から伝えられた民話の活字化を意図したが、初版は、「余りに残酷(実母による子殺しなど)」「子供に読み聞かせるには不適切」と不評で、後には、キリスト教的倫理観から、一部削除や修正も行ったようだ。中世の民衆の生活には、19世紀の感覚からみても、残酷と思われる事が一般的に行われていたのだろうが、しかし、何故、わざわざそんな残酷な事象をメルヒェンにいていたのか?例えば、白雪姫(Schneewittchen)では、王妃(修正前は、実母)が、自分の娘を殺せと命令する、更にその証拠として差し出された白雪姫の肺と肝臓(実は猪のもの)を煮て食べてしまう。

最後には、白雪姫の結婚式に来た王妃は、真っ赤に焼けた鉄のスリッパを履いて、死ぬまで踊らされた。

日本人の感覚からは、信じられないような事ばかりですが、これが子供に聞かせられたとすれば、その意図する処は何か。「世の中は非合理的な事ばかりだが、それを現実として受け入れ、強く生き抜け、やられたらやり返せ」と言っているように私には思えます。現代日本の「いじめによる子供の自殺」等を思えば、必要なのは、「命の大切さを教える」等という掴みよさの無い話ではなく、このような、「何があっても負けずに逞しく生き抜け」というメッセージの方が、余程、伝わり易く、重みのあるものに思える。

② グリム兄弟は、ドイツ文化の独自性を証明出来たか?

グリム童話に収められた民話は実際にはドイツだけに限らず、ヨーロッパの他の地に発するものも含まれていたようだ。更に、橋本先生によれば、「Sternblume」が一般に日本で訳されているような「エゾ菊」に限らず、魔法を解く花を意味する「ユリ」でもある事など、使用されている一つ一つの単語の裏には生活文化からくる深い意味が込められており、その意味から、グリム童話、に理解するには北歐神話「Edda」の知識が必須で、同時にケルト文化の影響も認められるとの事。元々グリム兄弟は、Deutsches Volk意識を目指して民話の収集やドイツ語辞書編纂を始めたといわれるが、結果的に、ヨーロッパ文化は国家の枠を超えた、諸民族の文化が融合した物であると証明した事にならないか。異質性を意識するが、実際には根は同質。あの同じ土地を多くの民族が居住し、移動し、戦ってきた歴史を思えば、頷ける。この点が、アジアと違う点で、アジアの文化は一括りにできない異質性の上に成り立っており、簡単にヨーロッパの真似は出来ない。何れにせよ、グリム兄弟の努力が統一国家ドイツの成立に大きく貢献した事は確かだろう。以上は、一門外漢による橋本先生の講演についての感想。来年3月には橋本先生による全訳・グリム童話全集が出版されるとの事、どんな新たな発見があるか、今が楽しみです。

左: 講演する
橋本孝先生



下: 楽しく
聞き入る会場



10月懇話会

三谷善朗氏の「仕事で接したドイツ企業・
ドイツ体験」をきいて

会員 清水孝祐



(三谷氏と清水氏)



(懇親会の会場)

三谷様の懇話会に参加して、お話を聞きました。日本で一番大きく、有名なポンプメーカーの設計部門に勤務され、若い時(31歳ごろ)に、ドイツへ派遣されたお話から始まりました。

50年前の昭和39年1月にドイツに行かれました。派遣先のドイツの会社は、当時、社員4万人のミュンヘンのリンデアクセルシャフト社。会社は、非常に組織的に出来ており、営業部門・マーケティング、製造部門、設計開発等の説明がされました。リンデ社は、トラクターを皮切りに、フォークリフトを製造。フォークリフトは、世界の市場を二分しており、リンデ社の変身は、早いとの感想だそうです。

当時、出国には、1000ドルまでのお金の持出し制限があり、費用が少なく、現地での出費は、グラフを作り管理した話。派遣直後の生活では、下宿の暖房に、レンガのような石炭を使用や、現地会社から旅行チケットをもらい、旅行されたことや、半年間、ドイツ語を教えてもらったことなど。また、「良い品物であれば売れる。良い品物は、高くても売れる」を教えられたそうです。

勤続25年の後、大阪の日本で有数な油圧機器メーカーに勤務され、製品を、リンデ社を通して輸出。ヨーロッパで営業、約70回行かれているそうです。また、世界最大の見本市・ドイツ・ハノーバー展へ3回出展し、準備で1ヶ月前から滞在され、展示会の様子や、展示会の女性通訳・アシスタントの方が、日本でのホームステイや、後に、大学のドクター(先生)になった話、なども聞きました。

ドイツ人の生活

夕食前後の過ごし方や、夜遅くまでの音楽会、ゴルフ・ホビー・サウナについて聞きました。

三谷様のお話を聞いて、たいへんドイツの今昔の様子が、短い時間で一部ですが、手に取るようにわかり、特に、人とのつながりが垣間見えるお話でした。

たいへん、和やかな懇話会で、ありがとうございました。今後とも、ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

ドイツ語講座ご案内 2013年・春夏期(4月～9月)

クラス:

- [初級] 土曜日 11:15～12:45 講師:中川 純子 Arndt-Olaf Friess テキスト Modelle 1
初めてドイツ語の世界に触れたい方対象。発音や文法の基礎をしっかりと身につけながら、楽しく会話ができるようになります。
- [中級・講読] 土曜日 10:00～11:30 講師:松野 義明 テキスト 「岡田・岩崎ドイツ文法」 当面:Luise Rinser 「Die Rote Katze」 将来:Erich Kaestner 「Das Fliegende Klassenzimmer」
常に文法書の該当箇所に戻り、文章構造を確認し、曖昧さを排除しながら先へ進めます。随時、練習を挿入し、文法理解を助けます。
- [中級・会話] 土曜日 9:30～11:00 講師:中川 純子 Arndt-Olaf Friess テキスト Modelle 2
初級文法を終えた方対象。新たな文法を学びつつ、一歩進んだ自己発信をしてゆくことでドイツ語会話の楽しさが実感出来ます。

会場: 藤沢カトリック教会 受講料:43,000円 (湘南日独協会会員には割引特典があります)

[申込・問合せ先]

松野: TEL&FAX 0467-32-7300 e-mail: matsunoy@kamakuranet.ne.jp

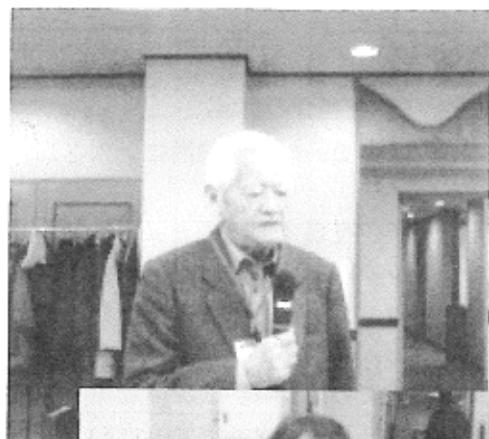
*注: 上記は現時点での予定です。4月開講までに一部内容が変更される可能性もあります

♪♪ 12月望年会開催 ♪♪

12月15日土曜日の夕方、会場のKRR江の島ニュー向陽で愉快で楽しい一時を過ごしました。岩崎英二郎先生もご参加されドイツ語についてのお話も頂きました。

90歳を越える方から若い方で、日頃顔を合わせることの少ない会員が食事にお酒に、勿論音楽を楽しみました。

今回はSingen wir zusammen!(歌で楽しむドイツ語)のDavid Garde 先生も参加され、クリスマスの歌の他、ドイツ語、英語の自作の歌を披露され盛り上がりました。また新しい会員の自己紹介もあり、盛り上げました。



Singen wir zusammen (歌で楽しむドイツ語) へご参加ください!

1月13日は第5回となります。これまでに次のような曲を歌って来ました。ご希望の曲もお知らせ下さい。
ビールを飲みながらの愉快な歌! Ein Prosit, Trink, Trink, Bruederlein, Trink, Rosamunde など、懐かしいドイツ民謡のDie Lorelei, Muss i denn など、クリスマスの歌 Stille Nacht, O Tannenbaum そして大変有名な Ich hab' mein Herz in Heidelberg verloren など様々な魅力溢れる曲目です。次回は愛の歌Liebesliederです。お待ちしております!

「編集後記」 2013年明けましておめでとうございます。今年は湘南日独協会創立15周年の記念の年、記念行事も3月の岩崎英二郎先生の講演会、5月には合唱団「アムゼル」の10周年記念コンサート、そしてドイツ旅行、秋にはワイマール独日協会一行の歓迎会と大きな催し物が企画されています。どうぞ多くの皆様のご参加を頂きたいと思っております。記念号の発行も企画したいと考えておりますので皆さまのご協力ご支援をお願い申し上げます。(大久保)

★★湘南日独協会のホームページ★★

<http://jdg-shonan.ciao.jp/>

「全国日独協会一覧」からもアクセス出来ます